水泳系領域部会

1 6年間の系統性について

〇 2年間ごとの内容の構成

幼稚園・保育所における遊び

「遊び」は子どもの「自発的な活動」であるとされ、「心身の調和のとれた発達の基礎」を培うもので、「重要な学習」と位置付けられている。そして保育者には、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の各領域のねらいが総合的に達成されるように、遊びを通して子ども一人一人の特性に応じて指導していくことが求められている。

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
領域	水遊び	浮く・泳ぐ運動	水泳
内	水に慣れる遊び	浮く運動	クロール
容	浮く・もぐる遊び	泳ぐ運動	平泳ぎ

中学校 第1学年及び第2学年

クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ…記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付ける。

○ 2年間ごとの指導の目標

幼稚園・保育所 「健康」領域

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

- (1) 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わうことができる。
- (2) 自分の体を十分に動かし、進んで運動することができる。
- (3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付けることができる。

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年		
技能	次の運動を楽しく行い、その動	次の運動を楽しく行い、その動	次の運動の楽しさや喜びに触		
	きができるようにする。	きができるようにする。	れ、その技能を身に付けること		
	○水に慣れる遊びでは、水につ	○浮く運動では、いろいろな浮	ができるようにする。		
	かったり移動したりするこ	き方やけ伸びをすること。	○クロールでは、続けて長く泳		
	と。	○泳ぐ運動では、補助具を使っ	ぐこと。		
	○浮く・もぐる遊びでは、水に	てのキックやストローク、呼	○平泳ぎでは、続けて長く泳ぐ		
	浮いたりもぐったり、水中で	吸をしながらの初歩的な泳ぎ	こと。		
	息を吐いたりすること。	をすること。			
態度	運動に進んで取り組み、仲よく	運動に進んで取り組み、仲よく	運動に進んで取り組み、助け合		
	運動をしたり、水遊びの心得を	運動をしたり、浮く・泳ぐ運動	って水泳をしたり、水泳の心得		
	守って安全に気を付けたりする	の心得を守って安全に気を付け	を守って安全に気を配ったり		
	ことができるようにする。	たりすることができるようにす	することができるようにする。		
		る。			
思考・	水中での簡単な遊び方を工夫で	自己の能力に適した課題をも	自己の能力に適した課題の解		
	きるようにする。	ち、動きを身に付けるための活	決の仕方や記録の挑戦の仕方		
料		動を工夫できるようにする。	を工夫できるようにする。		

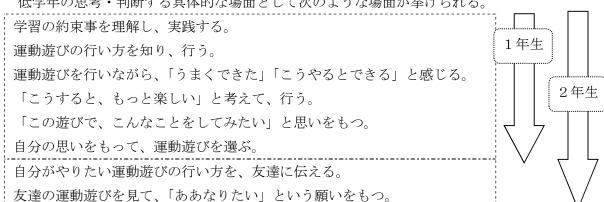
中学校 第1学年及び第2学年

- ○各泳法に取り組み、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができるようにする。
- ○水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。
- ○水泳の特性や成り立ち,技術の名称や行い方,関連して高まる体力などを理解し,課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

2「思考・判断」の指導内容について

○ 具体的な学習活動の例 (第1学年 水遊び「水に慣れる遊び、浮く・もぐるあそび」)

低学年の思考・判断する具体的な場面として次のような場面が挙げられる。



知

る

思考・判断する場面を設定するため、次の学習活動を取り入れる。

- ① 運動の行い方を理解する
- ② 運動をやってみたいと思う
- ③ 行う
- ④ こんなことをしてみたいと思う
- ⑤ 遊びを選択する
- ⑥ 友達と一緒に遊んだり、遊びを紹介したりする
- ⑦ やってみたい遊びを行う

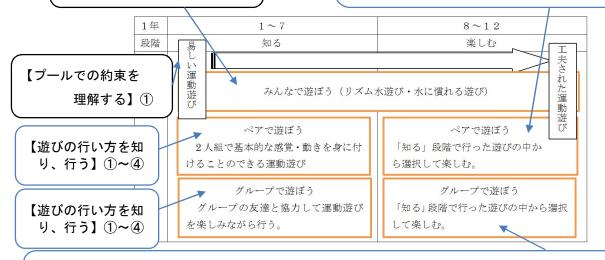
「やってみたい」 「こんなことを 行う してみたい」 遊びを選ぶ 楽 25 「あの遊びを 行う やってみよう」

運動の行い方を理解する

【リズム水遊びや水に慣れる遊 びの行い方を知る】①~④

【遊びを選んで、工夫する】⑤~⑦

「ペアで遊ぼう」の遊びを選択し、工夫して楽しむ。知る段 階で行った遊びをしながら、自分たちで考えた他の動きを加 えて楽しむ。



【遊びを選んで、工夫する】⑤~⑦

「グループで遊ぼう」の遊びを選択し、工夫して楽しむ。知る段階で行った遊びをしながら、3~6人で、さら に楽しめる遊びになるように話し合いながら工夫する。